

第10回総会  
第1号議案

# 令和5年度事業報告書

(事業報告・収支計算書)

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

令和6年6月19日

一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会

## 1. 会員状況

令和6年度3月末の会員一覧

| 種 別              |    | 令和5年3月末 | 増 | 減 | 令和6年3月末 |
|------------------|----|---------|---|---|---------|
| 普通<br>会<br>員     | 団体 | 2 1     | 0 | 0 | 2 1     |
|                  | 会社 | 2 3     | 6 | 0 | 2 9     |
|                  | 計  | 4 4     | 6 | 0 | 5 0     |
| 賛<br>助<br>会<br>員 | 団体 | 1       | 0 | 0 | 1       |
|                  | 会社 | 0       | 0 | 0 | 0       |
|                  | 計  | 1       | 0 | 0 | 1       |
| 合 計              |    | 4 5     | 6 | 0 | 5 1     |

## 2. 役員等の構成

| 会 長 | 専務理事 | 理 事 | 監 事 |
|-----|------|-----|-----|
| 1   | 1    | 1 1 | 2   |

## 3. 機構及び職員数

| 役 職 | 事務局長 | 部 長 | 課 長 | 係 長 | 職員 |
|-----|------|-----|-----|-----|----|
| 事業部 | 1    |     | 2   | 1   | 1  |

## 4. 主要事項

### (1) 協議会運営

第9回通常総会および第32回理事会を開催し、事業報告、決算等の協議会の事業運営に関わる事項および規程類の改定を決議した。第33回理事会、第35回理事会を開催し、諸規定の変更についての説明、業務報告を行った。第34回理事会、第35回理事会では、新規会員の入会を承認した。

また、財務基盤の安定化、円滑な事業運営のため、会員の募集活動を行った。今期はキッコーマン株式会社、キューピー株式会社、松田産業株式会社、味の素株式会社、カフェ・カンパニー株式会社及びZERO CO株式会社が新規会員となった。

| 事項・内容等          | 期日・回数等     | 場所等    |
|-----------------|------------|--------|
| 第31回理事会         | 令和5年 5月24日 | 書面     |
| 第9回通常総会・第32回理事会 | 同 6月16日    | 大日本水産会 |
| 第33回理事会         | 同 11月16日   | 大日本水産会 |
| 第34回理事会         | 同 12月15日   | 書面     |
| 第35回理事会         | 令和6年 3月28日 | 大日本水産会 |

### (2) 認証実績

R6年3月末現在で認証件数は244件となった。内訳は漁業24件、養殖64件、流通加工（C o C）156件である。R4年度の認証対象水産物の生産量は約38万トン（推定）であった。認証対象生産量は全国の総生産量の1割弱を占めることとなった。

資源状態の悪化（ゴマサバ、ウルメイワシ）、認証の活用なし、事業の停止等の理由で、18件が認証終了及び一時休止となった。養殖では飼料高騰で事業休止に追い込まれる事例もある。なお、養殖認証規格 Ver. 2.0 は3月現在で27件（移行14件、新規13件）となっている。

12月20日に、(公財) 海洋生物環境研究所・中央研究所が、正式に製品認証機関としての認定が決定した。これにより、(公財) 日本水産資源保護協会と2つの認証機関で認証制度を運営することとなった。なお、既に養殖2件とC o C 3件の審査を完了し、認証している。

### (3) G S S I 関連

9月21日にMELのG S S I 新ベンチマークツール Ver. 2.0 での再承認が得ら

れることになった。C S C（アラスカR F M）に続く2番目の承認である。R 6年3月末現在、7つのスキーム全て承認が完了した。

4月のバルセロナシーフードショーでG S S Iスキームオーナー会議に出席した。S E A F O O D M A Pプロジェクトの進捗報告があり、また各スキームからG S S Iへの要望や意見を出した。M E Lからは、スキームロゴにG S S I承認を告知できるよう提案し、その後の理事会で了承を得て、現在事務局が使用ガイドラインを作成中である。

8月には、リサ・ゴーシェ事務局長が来日し、東京シーフードショーの会場で開催されたM E Lワークショップに登壇した。この間、水産庁、大日本水産会、大手水産会社並びに魚粉製造業者を訪問した。

| 事項・内容等             | 期日・回数等            | 場所等         |
|--------------------|-------------------|-------------|
| G S S I 個別会議       | 令和5年4月～令和6年3月（適宜） | オンライン、バルセロナ |
| G S S I スキームオーナー会議 | 令和5年4月26日         | バルセロナ       |
| G S S I 事務局長来日     | 令和5年8月23日～25日     | 東京          |

#### （4）認証規格等の開発・改定

11月の理事会において、養魚用飼料の認証の開発を進めるための規格委員会を設置の承認を得た、これにより、準備に時間を要したが、正式に配合飼料認証規格と魚粉魚油認証規格の開発に着手することとなった。R 6年3月末までに規格委員会はそれぞれ2回開催し、また日本養魚飼料協会から派遣された規格委員と個別に二社協議会を開催し、方向性・規格細部の共有に努めた。今後はマスバランス方式の理解と実装、残渣原料を認証の対象化する科学的根拠の整理、認証機関との準備等の作業に入っていく。

漁業認証規格とC o C認証規格が、5年毎の規格レビューの対象となっているので、両規格の改正に着手することとした。R 6年2月にはそれぞれ現行規格の問題点や改正の方向性を整理する目的で規格委員会を開催した。漁業は社会的責任、労働問題や人権、環境問題への貢献等を織り込む。C o Cは国内の複雑な流通加工の実情を反映した規格に作り変えることを目指し、特に小売業・飲食業の認証取得促進を後押しする。

全規格対象に認証機関に対する要求事項の修正を行い、文言の定義や解釈の齟齬の解消、条項・条文の構成を分かりやすくした。バージョンの変更を伴わない修正と

して、R 6 年 4 月から認証活動に反映していく。

| 事項・内容等                             | 期日・回数等                        | 場所等       |
|------------------------------------|-------------------------------|-----------|
| 配合飼料認証規格、魚粉魚油認証規格開発に係る委員会及び協議会     | 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月<br>(適宜) | ME L 協議会他 |
| 漁業認証規格・C o C 認証規格改正に係る意見交換会及び規格委員会 | 令和 6 年 1 月～3 月 (適宜)           | ME L 協議会他 |
| C B に対する要求事項改訂に関する打ち合わせ他           | 令和 5 年 9 月～1 1 月 (適宜)         | ME L 協議会他 |

## (5) 国内外における広報・宣伝活動

### 【国 内】

大日本水産会と協働し、ジャパン・インターナショナル・シーフードショー（8 月 2 3 日～2 5 日）、シーフードショー大阪（R 6 年 2 月 2 1 日～2 2 日）に出展し、ME L の広報活動、認証事業者の水産物や商品の宣伝活動を行った。大阪では、認証証書授与式を開催したところ、全国から 1 5 の認証事業者の出席となり、メディアにも大きく取り上げられた。

下関で開催された講演会（「食と水産業におけるイノベーションの必要性」5 月 1 9 日）、主婦連学習会（7 月 7 日）、J A B 3 0 周年プラットフォーム（1 0 月 1 7 日）、J I C A 本邦研修会（R 6 年 1 月 1 9 日）に垣添会長がスピーカーとして登壇した。

環境省・国交省・農水省他共催の「カーボンニュートラルを考える」（4 月 1 日～2 日）、国交省主催の「海の日プロジェクト」（7 月 1 7 日）、農水省主催の日本フードシフトフェス丸ノ内（9 月 2 3 日～2 4 日）、東京都主催の交流フェスタ東京 2 0 2 3（1 0 月 2 2 日～2 3 日）、F I S H-1 グランプリ（R 6 年 1 月 2 1 日）他にブースを出展し、水産エコラベル、ME L の認知向上に努めた。なお、ME L は「さかなの日」の賛同メンバーとなっており、関連イベントに積極的に参画し、R 6 年度からは持続的な水産物消費拡大推進の一助を担う方針である。

企業間取引向けのイベントとしては、東京サステナブルシーフード・サミット 2 0 2 3（1 0 月 1 7 日～1 9 日）にブース出展し、ME L 認証制度、認証水産物の P R を行った。また、R 6 年 1 月～2 月の期間、三陸復興支援・同地区産の水産物販売促進の一環で、東卸組合運営の「夢市楽座」に参画し、ME L 認証水産物の販売、ボードやポスターを設置し P R した。

## 【海 外】

本年度も海外でのMEL認知促進、取り組み紹介を行った。5月には、大日本水産会の持続的海洋水産資源利用事業の一環として、台湾行政院農業委員会漁業署（水産庁に相当）を訪問、また台湾の水産認証制度「海洋之心生態標章」のスキームオーナーである台湾海洋保育興漁業永續委員会（TOFF）と相互の認証スキームを学び合うワークショップを開催した。

米国アラスカRFMのスキームオーナーであるCSC（Certified Seafood Collaborative）とは、COC認証の相互承認に関する会議を行った。現在、双方のCOC規格の審査シートの相違点を整理して、それぞれの認証機関への説明を行っている段階である。次年度は相違点の解釈に関するMOUの締結、各認証機関への要求事項の作成、ロゴマーク使用管理のガイドライン作成を進めていく。

## 【機関紙・HP・SNS等】

機関紙「MELニュース」を毎月発行し、会員・認証事業者・役員他関係者の方々への情報共有に努めた。

Instagramのフォロワー数は引き続き伸びており、R6年3月末現在1,993となった。本年度もMEL認証商品試食モニターを募集し、6名がしらす干し、ロッキースモークサーモン、鮭水煮缶詰のメニューをInstagramに投稿してくれた。アンバサダーは11名（男性2名）で構成され、積極的にMELのPR活動を行っている。アンバサダーでもあるYouTuberに、MEL関連のコンテンツを提供し、あるいは展示会場取材してもらい、それらを動画配信して、MELの普及を促進する取り組みを行っている。

また、ファミリー向けのMEL普及活動に取り組んでいる。7月～8月に「MEL親子教室」を開催、46名（父母20名、子供26名）が参加した。

種々イベントにおいて、ファミリー向けのセミナーやワークショップを実施し、持続的な資源の利用、環境や生態系の保全、そして水産エコラベルの大切さを分かりやすく説明した。度毎にアンバサダーも参加していただき、MELの情報発信を強化した。

| 事項・内容等                  | 期日・回数等               | 場所等        |
|-------------------------|----------------------|------------|
| カーボンニュートラルを考える2023      | 令和5年 4月 1日～2日        | 幕張メッセ      |
| 自民党水産勉強会「水産の未来を語るタベ」    | 同 5月 8日              | 自民党本部      |
| 下関講演会「食と水産業イノベーション」     | 同 5月19日              | 下関シーモール    |
| 主婦連ロビー展示（MEL紹介）         | 同 6月14日～8月4日         | 主婦連本部      |
| 主婦連講演会「漁業の今と未来について」     | 同 7月 7日              | 主婦連本部      |
| 海の日プロジェクト2023           | 同 7月17日              | ベルサール汐留    |
| MEL親子教室                 | 同 7月31日・8月8日         | 大日本水産会     |
| ジャパン・インターナショナル・シーフードショー | 同 8月23日～25日          | 東京ビッグサイト   |
| 日本フードシフトフェス             | 同 9月23日～24日          | 丸の内仲通り     |
| JAB30周年記念プラットフォーム       | 同 10月17日             | 飯野ホール      |
| 東京サステナブルシーフード・サミット2023  | 同 10月17日～19日         | ベルサール新宿    |
| 交流フェスタ東京2023            | 同 10月22日～23日         | 新宿駅西口広場    |
| ICFA（国際水産団体連合）総会        | 同 10月27日             | ローマ        |
| 夢市楽座                    | 令和5年12月～令和6年2月（2日/月） | 豊洲市場仲卸棟    |
| 農水省 消費者の部屋展示（MEL紹介）     | 令和6年 1月15日～19日       | 農水省        |
| JICA本邦研修会               | 同 1月19日              | JICA東京センター |
| Fish-1グランプリ さかなの日       | 同 1月21日              | 池袋駅西口公園    |
| みなと生物多様性パネル展            | 同 2月 1日～             | みなとパーク芝浦   |
| シーフードショー大阪              | 同 2月21日～22日          | ATCホール     |
| カーボンニュートラルを考える2024      | 同 3月30日～31日          | 幕張メッセ      |

## （６）商談会及び講習会・研修会

インターナショナルシーフードショー（東京SFS）、シーフードショー大阪で水産エコラベルコーナーを設置し、認証事業者からヨンキュウ、山下水産、南食品、高橋商店、マル伊商店、ダイニチ、辻水産、理研食品が出展した。MELブースでは認証事業者（未出展）の水産物や商品を紹介し、生産者とバイヤーとの繋がりを作った。

今期は地方自治体主催の水産エコラベル認証取得のための講習会の開催はなかったが、漁業団体、小売業、外食業、水産会社等、直接訪問あるいはオンラインでMEL認証取得のための説明会・商談会を行った。

審査員研修会は、既存審査員の能力向上のための研修会（CPD）を7月27日～29日、R6年2月13日～14日の2日間、新規審査員向け研修会を10月25日～27日で開催した。

| 事項・内容等                                | 期日・回数等                                           | 場所等                    |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------|
| ジャパン・インターナショナル・シーフードショー<br>シーフードショー大阪 | 令和5年 8月23日～25日<br>令和6年 2月21日～22日                 | 東京ビッグサイト<br>A T C ホール  |
| 水産エコラベル認証取得商談会・説明会(主要)                |                                                  |                        |
| ライフコーポレーション                           | 令和5年 4月13日他                                      | ライフコーポレーション本部          |
| 琉球大学                                  | 同 5月12日                                          | オンライン(東京・那覇)           |
| 千葉県庁・海光物産                             | 同 5月15日                                          | 千葉県庁                   |
| スシロー                                  | 同 5月25日                                          | オンライン(東京・大阪)           |
| マルハニチロ                                | 同 5月26日                                          | マルハニチロ                 |
| 日本スーパーマーケット協会                         | 同 8月 2日                                          | 日本スーパーマーケット協会          |
| アンドブルー                                | 同 10月 3日                                         | M E L 協議会              |
| サミット                                  | 同 10月10日                                         | サミット本部                 |
| 北三陸ファクトリー                             | 同 10月27日                                         | M E L 協議会              |
| SANKO MARKETING FOOD                  | 同 11月20日他                                        | あふ食堂他                  |
| 三菱商事・東洋冷蔵                             | 同 12月 7日                                         | M E L 協議会              |
| 十三湖漁協                                 | 令和6年 1月26日                                       | 十三湖漁協                  |
| 石巻魚糧工業                                | 同 3月 5日                                          | 石巻魚糧工業                 |
| 尾鷲物産                                  | 同 3月13日                                          | 尾鷲物産                   |
| 認証審査員育成のための研修会<br>(漁業、養殖、C o C)       | 令和5年 7月27日～28日<br>同 10月25日～27日<br>令和6年 2月13日～14日 | 川崎市(テクノファ)<br>同上<br>同上 |

## (7) その他の活動

日本適合性認定協会(J A B)とは定期的に会議を開催しており、認証機関の認定審査の動向、規格や関連文書の改訂について意見交換した。養殖規格の認証区分や認証機関の要求事項の文言や構成のレビュー等、貴重な助言を受けた。なお、適合性評価スキームの評価基準(スキームオーナーに対する要求事項 IAF MD2025:2023)がR6年度から正式に導入となる。

マネージメントレビューの一環として、認証機関(日本水産資源保護協会、海洋生物環境研究所)、水産庁加工流通課、M E L 協議会による三者定期連絡会議を毎月実施し、審査実績の進捗確認、スキーム運営や規格に関する諸課題について情報共有、意見交換に努めた。

8月23日に第5回M E L ワークショップを開催した。G S S I のリサ・ゴーシェ

事務局長、北海道漁連の菊池副会長、大日本水産会の高瀬専務理事らが登壇、また、東京海洋大学の舞田副学長をファシリテーターとして、「水産エコラベルの新時代」をテーマに活発に議論した。

R 6 年 2 月 2 7 日に第 6 回アドバイザーボードを開催した。横浜国立大学の松田名誉教授を座長として、ME L の認識すべき現状と今後の取り組むべき課題をテーマとし、ボードメンバーから多様な視点から意見を頂いた。

昨年に続き、認証取得に向けたコンサルティングを提供する事業を行っている。本件はコンサル事業者が直接実施する事業であるが、ME L 協議会は事業者の選考、進捗管理について関与している。R 6 年 3 月時点で 2 8 件のコンサルティングが実施され、そのうち 1 4 件が認証審査を申請済み、5 件が認証発効に至った。

外食業態での認証取得が伸び悩んでいるが、未取得の事業者に対して、ME L 認証水産物のメニューへの利用、ロゴマークの使用を認め、ME L の普及・認知向上に務めた。6 月には羽田食堂にて期間限定で東京湾産のスズキを使用した寿司を、R 6 年 3 月には農水省のあふ食堂（SANKO MARKETING FOODS が委託運営）で ME L 認証の水産物を使用したランチメニューを提供した。認証生産者から水産物を直接調達し、かつ対象期間は該当品に限定した使用が確認できることでテスト的に承認することとした。ユーザーからの反応が予想以上に高く、今後の C o C 規格改正における改良点になると考えている。

# 貸借対照表

令和6年 3月31日 現在

(単位:円)

| 科 目               | 当年度        | 前年度        | 増 減         |
|-------------------|------------|------------|-------------|
| <b>I 資産の部</b>     |            |            |             |
| 1. 流動資産           |            |            |             |
| 現金預金              | 1,015,504  | 5,117,972  | △ 4,102,468 |
| 未収金               | 9,427,968  | 9,874,912  | △ 446,944   |
| 仮払金               | 392,986    | 387,881    | 5,105       |
| 流動資産合計            | 10,836,458 | 15,380,765 | △ 4,544,307 |
| 2. 固定資産           |            |            |             |
| (1) その他の固定資産      |            |            |             |
| 什器備品              | 179,639    | 253,972    | △ 74,333    |
| 保証金               | 1,763,100  | 1,763,100  | 0           |
| 長期前払費用            | 4,819,553  | 4,297,494  | 522,059     |
| 固定資産合計            | 6,762,292  | 6,314,566  | 447,726     |
| 資産合計              | 17,598,750 | 21,695,331 | △ 4,096,581 |
| <b>II 負債の部</b>    |            |            |             |
| 流動負債              |            |            |             |
| 借入金               | 6,500,000  | 7,000,000  | △ 500,000   |
| 未払金               | 4,713,984  | 11,725,175 | △ 7,011,191 |
| 預り金               | 56,240     | 448,800    | △ 392,560   |
| 仮受金               | 78,117     | 1,902      | 76,215      |
| 流動負債合計            | 11,348,341 | 19,175,877 | △ 7,827,536 |
| 負債合計              | 11,348,341 | 19,175,877 | △ 7,827,536 |
| <b>III 正味財産の部</b> |            |            |             |
| 正味財産合計            | 6,250,409  | 2,519,454  | 3,730,955   |
| 負債及び正味財産合計        | 17,598,750 | 21,695,331 | △ 4,096,581 |

# 正味財産増減計算書

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位:円)

| 科 目             |  |  |  |  | 当年度         | 前年度         | 増 減         |
|-----------------|--|--|--|--|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部    |  |  |  |  |             |             |             |
| 1. 経常増減の部       |  |  |  |  |             |             |             |
| (1) 経常収益        |  |  |  |  |             |             |             |
| 受取会費            |  |  |  |  | 13,883,000  | 12,970,000  | 913,000     |
| 受取業補助金          |  |  |  |  | 11,209,000  | 8,767,000   | 2,442,000   |
| 雑収入             |  |  |  |  | 14,497,984  | 17,681,456  | △ 3,183,472 |
|                 |  |  |  |  | 85          | 63          | 22          |
| 経常収益計           |  |  |  |  | 39,590,069  | 39,418,519  | 171,550     |
| (2) 経常費用        |  |  |  |  |             |             |             |
| 事業費             |  |  |  |  | 14,497,984  | 17,681,456  | △ 3,183,472 |
| 給会費             |  |  |  |  | 7,721,400   | 11,688,300  | △ 3,966,900 |
| 旅通費             |  |  |  |  | 226,450     | 123,500     | 102,950     |
| 通信費             |  |  |  |  | 123,910     | 70,270      | 53,640      |
| 消耗品費            |  |  |  |  | 34,041      | 11,946      | 22,095      |
| 広報費             |  |  |  |  | 71,974      | 239,174     | △ 167,200   |
| 印刷費             |  |  |  |  | 0           | 2,360       | △ 2,360     |
| 諸委託費            |  |  |  |  | 612,568     | 519,456     | 93,112      |
| 雑費              |  |  |  |  | 1,308,000   | 860,000     | 448,000     |
| 管 理 費           |  |  |  |  | 4,342,841   | 4,120,150   | 222,691     |
| 給会費             |  |  |  |  | 56,800      | 46,300      | 10,500      |
| 旅通費             |  |  |  |  | 21,361,130  | 21,817,252  | △ 456,122   |
| 通信費             |  |  |  |  | 9,695,916   | 5,016,735   | 4,679,181   |
| 消耗品費            |  |  |  |  | 586,425     | 1,079,558   | △ 493,133   |
| 資 料 費           |  |  |  |  | 1,260,805   | 3,054,282   | △ 1,793,477 |
| 交 渉 費           |  |  |  |  | 1,051,703   | 1,462,619   | △ 410,916   |
| 印 刷 費           |  |  |  |  | 788,321     | 1,472,564   | △ 684,243   |
| 光 熱 費           |  |  |  |  | 58,872      | 38,034      | 20,838      |
| 賃 借 料           |  |  |  |  | 206,800     | 163,615     | 43,185      |
| 諸 租 税           |  |  |  |  | 835,309     | 936,803     | △ 101,494   |
| 委 託 費           |  |  |  |  | 0           | 2,780       | △ 2,780     |
| 減 価 償 却 費       |  |  |  |  | 105,665     | 161,145     | △ 55,480    |
| 雑 費             |  |  |  |  | 4,928,410   | 3,614,594   | 1,313,816   |
| 経常費用計           |  |  |  |  | 40,000      | 0           | 40,000      |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 |  |  |  |  | 12          | 9           | 3           |
| 損益評価等計          |  |  |  |  | 1,559,834   | 4,378,368   | △ 2,818,534 |
| 当期経常増減額         |  |  |  |  | 74,333      | 43,361      | 30,972      |
|                 |  |  |  |  | 168,725     | 392,785     | △ 224,060   |
| 2. 経常外増減の部      |  |  |  |  | 35,859,114  | 39,498,708  | △ 3,639,594 |
| (1) 経常外収入       |  |  |  |  | 3,730,955   | △ 80,189    | 3,811,144   |
| 経常外収益計          |  |  |  |  | 0           | 0           | 0           |
| (2) 経常外費用       |  |  |  |  | 3,730,955   | △ 80,189    | 3,811,144   |
| 移 転 関 係 費 用     |  |  |  |  | 0           | 3,981,346   | △ 3,981,346 |
| 経常外費用計          |  |  |  |  | 0           | 3,981,346   | △ 3,981,346 |
| 当期経常外増減額        |  |  |  |  | 0           | △ 3,981,346 | 3,981,346   |
| 他会計振替額          |  |  |  |  | 0           | 0           | 0           |
| 当期一般正味財産増減額     |  |  |  |  | 3,730,955   | △ 4,061,535 | 7,792,490   |
| 一般正味財産期首残高      |  |  |  |  | △ 2,480,546 | 1,580,989   | △ 4,061,535 |
| 一般正味財産期末残高      |  |  |  |  | 1,250,409   | △ 2,480,546 | 3,730,955   |
| II 指定正味財産増減の部   |  |  |  |  |             |             |             |
| 当期指定正味財産増減額     |  |  |  |  | 0           | 0           | 0           |
| 指定正味財産期首残高      |  |  |  |  | 5,000,000   | 5,000,000   | 0           |
| 指定正味財産期末残高      |  |  |  |  | 0           | 0           | 0           |
| III 正味財産期末残高    |  |  |  |  | 6,250,409   | 2,519,454   | 3,730,955   |

# 正味財産増減計算書

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位:円)

| 科 目             |   |   |   | 一般会計        | 水産エコラベル<br>普及推進事業 | 合 計         |
|-----------------|---|---|---|-------------|-------------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部    |   |   |   |             |                   |             |
| 1. 経常増減の部       |   |   |   |             |                   |             |
| (1) 経常収益        |   |   |   |             |                   |             |
| 受取会費            | 取 | 会 | 費 | 13,883,000  | 0                 | 13,883,000  |
| 事業収益            | 業 | 収 | 益 | 11,209,000  | 0                 | 11,209,000  |
| 受取補助金           | 取 | 補 | 助 | 0           | 14,497,984        | 14,497,984  |
| 雑収益             | 雑 | 収 | 益 | 85          | 0                 | 85          |
| 経常収益計           |   |   |   | 25,092,085  | 14,497,984        | 39,590,069  |
| (2) 経常費用        |   |   |   |             |                   |             |
| 事業費             | 業 |   | 費 | 0           | 14,497,984        | 14,497,984  |
| 給会費             | 与 | 手 | 当 |             | 7,721,400         | 7,721,400   |
| 旅通費             | 費 | 議 | 費 |             | 226,450           | 226,450     |
| 通信費             | 信 | 交 | 費 |             | 123,910           | 123,910     |
| 消耗品             | 耗 | 運 | 費 |             | 34,041            | 34,041      |
| 印刷製本費           | 刷 | 製 | 費 |             | 71,974            | 71,974      |
| 諸謝金             |   | 謝 | 金 |             | 612,568           | 612,568     |
| 委託費             |   | 託 | 費 |             | 1,308,000         | 1,308,000   |
| 雑費              |   |   | 費 |             | 4,342,841         | 4,342,841   |
| 管               | 理 |   | 費 |             | 56,800            | 56,800      |
| 給会費             | 与 | 手 | 当 | 21,361,130  | 0                 | 21,361,130  |
| 旅通費             | 費 | 議 | 費 | 9,695,916   |                   | 9,695,916   |
| 通信費             | 信 | 交 | 費 | 586,425     |                   | 586,425     |
| 消耗品             | 耗 | 運 | 費 | 1,260,805   |                   | 1,260,805   |
| 資               |   | 料 | 費 | 1,051,703   |                   | 1,051,703   |
| 広交              |   | 報 | 費 | 788,321     |                   | 788,321     |
| 光熱              | 熱 | 際 | 費 | 58,872      |                   | 58,872      |
| 賃               |   | 水 | 費 | 206,800     |                   | 206,800     |
| 諸借              |   | 謝 | 費 | 835,309     |                   | 835,309     |
| 租税              | 税 | 公 | 料 | 105,665     |                   | 105,665     |
| 委減              | 価 | 託 | 金 | 4,928,410   |                   | 4,928,410   |
| 雑費              |   | 償 | 課 | 40,000      |                   | 40,000      |
|                 |   | 却 | 費 | 12          |                   | 12          |
|                 |   |   | 費 | 1,559,834   |                   | 1,559,834   |
|                 |   |   | 費 | 74,333      |                   | 74,333      |
|                 |   |   | 費 | 168,725     |                   | 168,725     |
| 経常費用計           |   |   |   | 21,361,130  | 14,497,984        | 35,859,114  |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 |   |   |   | 3,730,955   | 0                 | 3,730,955   |
| 損益評価等計          |   |   |   | 0           | 0                 | 0           |
| 当期経常増減額         |   |   |   | 3,730,955   | 0                 | 3,730,955   |
| 2. 経常外増減の部      |   |   |   |             |                   |             |
| (1) 経常外収入       |   |   |   |             |                   |             |
| 経常外収益計          |   |   |   | 0           | 0                 | 0           |
| (2) 経常外費用       |   |   |   |             |                   |             |
| 経常外費用計          |   |   |   | 0           | 0                 | 0           |
| 当期経常外増減額        |   |   |   | 0           | 0                 | 0           |
| 他会計振替額          |   |   |   | 0           | 0                 | 0           |
| 当期一般正味財産増減額     |   |   |   | 3,730,955   | 0                 | 3,730,955   |
| 一般正味財産期首残高      |   |   |   | △ 2,480,546 | 0                 | △ 2,480,546 |
| 一般正味財産期末残高      |   |   |   | 1,250,409   | 0                 | 1,250,409   |
| II 指定正味財産増減の部   |   |   |   |             |                   |             |
| 当期指定正味財産増減額     |   |   |   | 0           | 0                 | 0           |
| 指定正味財産期首残高      |   |   |   | 5,000,000   | 0                 | 5,000,000   |
| 指定正味財産期末残高      |   |   |   | 0           | 0                 | 0           |
| III 正味財産期末残高    |   |   |   | 6,250,409   | 0                 | 6,250,409   |

# 財産目録

令和6年 3月31日 現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目           |        | 場所・物量等        | 使用目的等 | 金 額        |
|-------------------|--------|---------------|-------|------------|
| (流動資産)            | 預金     | 普通預金<br>みずほ銀行 |       | 1,015,504  |
|                   |        |               |       | 1,015,504  |
|                   | 未収金    |               |       | 9,427,968  |
|                   | 仮払金    |               |       | 392,986    |
| 流動資産合計            |        |               |       | 10,836,458 |
| (固定資産)<br>その他固定資産 |        |               |       |            |
|                   | 什器備品   |               |       | 179,639    |
|                   | 保証金    |               |       | 1,763,100  |
|                   | 長期前払費用 |               |       | 4,819,553  |
| 固定資産合計            |        |               |       | 6,762,292  |
| 資産合計              |        |               |       | 17,598,750 |
| (流動負債)            | 借入金    |               |       | 6,500,000  |
|                   | 未払金    |               |       | 4,713,984  |
|                   | 預り金    |               |       | 56,240     |
|                   | 仮受金    |               |       | 78,117     |
| 流動負債合計            |        |               |       | 11,348,341 |
| 負債合計              |        |               |       | 11,348,341 |
| 正味財産              |        |               |       | 6,250,409  |

令和6年5月8日

## 監査報告

一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会

監事 吉田 光 稔 

監事 畠岡 啓二 

令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1. 監査の方法の概要

- （1）会計監査について、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類並びにその附属明細書の正確性を検討した。
- （2）職務執行監査について、理事会その他の重要な会議に出席し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、妥当性を検討した。

### 2. 監査の結果

- （1）事業報告並びにその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していると認める。
- （2）理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- （3）当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当である。
- （4）計算書類並びにその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示している。

以 上